

寄附講義「会社研究」令和5年度 第15回目

令和5年7月26日(水) 13時10分

講師 大分ベンチャーキャピタル株式会社

代表取締役 渡邊 剛之 氏

テーマ：「スタートアップと起業の基本について」

本年度第15回目の寄附講座は、昭和61年3月に卒業し、株式会社大分銀行へ入行、現在は大分ベンチャーキャピタル株式会社に勤務する渡邊 剛之先輩による、「スタートアップと起業の基本について」という講義となりました。

まずは、自己紹介の後に以下の項目について語られました。

特に大分トリニータへの出向エピソードは興味深かったです。

1. 大分ベンチャーキャピタル株式会社についての概要説明

約15社上場実績・3社の資本提携/M&A 実績がある

2. スタートアップとは：

1) 定義：未解決の課題を解決する為に、マーケットが無い状態から、新たにマーケットを創り、そのマーケットで他のプレイヤーを排除して、短期間で爆発的な成長を成す企業

2) スタートアップ企業の成長ステージについて：

3) スタートアップ企業は何故必要か？

① 世界時価総額ランキング TOP 50 で日本は直近ではランク外となり、世界市場で日本企業の存在感は大幅に減少した。

② ベンチャーキャピタル後進国になってしまった。

③ 岸田政権の肝いりで2022年をスタートアップ創出元年として投資額を5年で10倍にする政策が取られた。

4) 資金調達動向：

スタートアップの資金調達金額及び調達者数は増加傾向にある。

3. ファンドとは：

1) 投資事業有限責任組合と呼ぶ

2) 融資：返済が可能かどうか、リスクの高い案件は回避する

3) ファンドのビジネスモデルは、事業が大きく成長するかどうか、リスクの高い案件でも取り扱いできる

4. 起業の基本について：

1) 起業家の資金調達の選択肢は確実に広がっている

2) 資金調達の方法には「デットファイナンス」と「エクイティファイナンス」があり、それぞれメリット・デメリットがある。

3) デットファイナンスに向いているのは「一般的な企業」、エクイティファイナンスに向いているのは本文で定義した「スタートアップ」

4) 投資家としては「エンジェル投資家」と「ベンチャーキャピタル」がある

5) エクイティファイナンスの投資回収には「インカムゲイン」

と「キャピタルゲイン」があるが、ベンチャーキャピタルは
キャピタルゲインを期待する傾向にある

6) 資本政策：

- ① 企業が成長するうえで必要な資金の調達する為の株式発行や
異動の為の戦略計画
- ② 資本政策は一度失敗するとかなり致命的な事象となる

7) ビジネスモデル：

- ① スタートアップ企業は資金の出し手に「事業計画書」を出す
必要がある
- ② 「事業計画書」の中で特に重要なのが「ビジネスモデル」の
説明
- ③ スタートアップ企業はエクイティファイナンスで資金調達を
行う場合は、法務面もしっかり押さえる必要がある

5. クラウドファンディングとは：

- ① 個人投資家から少しずつ資金を集める手法
- ② 「寄附型」・投資型・購入型の3種類ある

6. 最後に：

これまでの常識が変わると共に、既存の産業構造が変わっていき
こうとしている、変革にはリスクを伴うが、大きなチャンスも内包し
ている、当社は、この日本から、又、大分県から世界に台頭する企
業が誕生してくれることを切に願うとの由。



以上